



建物外観（撮影：竹中工務店 古川泰造）

建築概要

建設地：大阪市西区西本町1丁目4-1
 建築主：合同会社西本町デベロップメント
 設計：株式会社竹中工務店大阪本店一級建築士事務所
 施工：株式会社竹中工務店大阪本店
 建築面積：1,439.82m² 延床面積：41,555.80m²
 階数：地上29階、地下3階 高さ：131.054m
 構造種別：RC造（一部SRC造、床はS造）

選評

本計画の特徴は、高層免震オフィス建築にRC造を採用した点にある。免震構造の利点を活かし、剛性は高いが重量も大きいRC造を採用したうえで、さらに外周架構には扁平な柱梁で構成されるプレキャストRC架構を用いることで柱型が室内に出ないスペース有効性の高いオフィス空間を生み出している。4階以上のオフィス基準階は、外周架構をスパン3.2mのラーメン架構、コア部分はRC耐震壁架構としていて、スパン約14mのオフィス床には鉄骨梁と合成床版を採用して軽量化を図っている。平面計画では、RCコアの計画上の自由度を向上させるため構造コアと設備コアを分離したT字型コアを採用しているほか、建物外周の48本の柱は、1～3階のメガフレームで12本に集約され、開放的なエントランス空間が演出されている。センターコア部を基礎免震としているのに対し、それ以外の部分は地下一階駐車場での中間層免震とし、各種免震部材を併用している。外周のRC架構は石打ち込みプレキャスト部材で外装材を兼ねることや、大梁を2連梁部材とすることでピース数を減らすなど工期短縮のための工夫も行われているなどアイデアに富んだ端正な建築として賞にふさわしいと評価できる。

（小堀 徹）

免震化した経緯及び企画設計等

本建物は多角的な事業を展開するオリックスグループの拠点となる大阪本社ビルである。そのため、本社機能が入居可能な仕様として、「高い事業継続性」が求められた。この要求に対し、免震構造を採用することで、大地震の被害を最小限に抑え、西日本の本社として早期に事業を再開可能とする高い耐震性能を付与した。また、地震力が低減されるという免震効果を活用し、柱型の出ない使いやすくフレキシビリティの高い執務空間や建物基壇部の開放的で魅力あるエントランス空間を創出した。

技術の創意工夫、新規性及び強調すべき内容等

免震効果を最大限発揮するため、主架構に剛性の高いRC造を採用した。架構形式はダブルチューブ構造で、外周架構をスパン3.2mのラーメン架構、コア部分の内部架構を耐震壁架構としている。外周柱を外装材兼用の厚さ485mmのスレンダーな石打ち込みプレキャスト部材とすることで、デッドスペースがなく外壁位置まで有効に活用できる付加価値の高いオフィス空間を実現した。

また、上階の48本の外周柱を1～3階の基壇部のSRC造メガフレームで12本の柱に集約することにより、上部のファサードに縛られることなく、都市に対して開かれた公共性の高い空間を実現した。



基準階オフィス（撮影：SS大阪 清水向山）



建物基壇部（外観）
（撮影：SS大阪 清水向山）



開放的なサンクンガーデン
（撮影：SS大阪 清水向山）